

むし歯とインフルエンザ!?



今年の冬は、はじめはあたたかかったのですが急に寒くなり、それとともにインフルエンザが広がっているようです。この時期に思うのですが、インフルエンザと、むし歯や歯周病とは、似ているところがいっぱいあります。

たとえば、どちらも原因は感染です。インフルエンザはウイルス、むし歯は細菌と、その大きさはかなり違いますが、インフルエンザのウイルスがマスクをすり抜けてしまう、むし歯の原因になる細菌がハシヤスプーンをしっかりと消毒しても他の何かにくっついて口の中に入ってきてしまう、など気をつけていてもかかることがある、という点では似ています。

感染を防ぐには、予防がたいせつです。インフルエンザの「予防接種」は100%発症しないわけではありませんが、発症しても軽くてすみます。むし歯の予防は「フッ素」が有効です。同様に絶対にむし歯ができなくなるわけではありませんが、進行をおさえたり、初期であれば再石灰化といつて歯を修復したりすることも期待できます。いろいろなタイプがありますが、医薬品の認定を受けているフッ素がおすすです。インフルエンザに限らず病気の予防には「手洗いとうがい」がたいせつです。

が「しっかり歯を磨く」ことも感染症の予防につながるというわれています。

のどの粘膜にはタンパク質の覆いのようなものがある、ウイルスが簡単にくっつかないようになっています。口の中が清潔でないと、細菌が作りだす酵素のひとつがその覆いを壊してしまい、粘膜にくっついてウイルスが体の中に入りやすくなってしまいますのです。その点では歯周病もおなじです。細菌が毒素をつくり、歯ぐきや歯のまわりの骨をむしばんでいきます。

ある介護施設で歯磨きをしっかりとるようにしたら、インフルエンザにかかる人が激減した、とメディアで取り上げられたことがありましたが、それは「歯科衛生士」が歯垢や歯石などを徹底的に除去し、さらに家族や介護者にもたいたい歯磨き法の説明をおこなった結果でした。説明を受けていない人が漠然と歯磨きしただけでは、インフルエンザの予防効果は高くないだろうと指摘する声もあります。

お口の中を清潔にすることが、いろいろな病気を防ぐことにつながります。

情報クリップ

待合室にて絵本を楽しむ「元気がわくおはなし会」を毎月開いています。くわしくは、ホームページをご覧ください。受付または司書までお問い合わせください。

す。歯科衛生士は専用の道具を使って清掃できますし、ふだんの歯磨きの道具についても専門的なアドバイスができますので、ご自身のこと、お子さまのことなど、気になることがあれば相談してみたいかがでしょうか。



お話ししたいのは
近藤 嘉人 院長



医療法人 元気が湧く こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科

診療時間 ●診療時間 9:00~18:30
●昼休み 平日12:30~14:00
土日13:00~14:30
●休診 火曜・祝日(土日診療)

院長 H2 九州大学歯学部卒業 九州大学歯科矯正学講座入局
H8 日本矯正歯科学会認定取得 小児歯科は本の執筆
H19 こどもの歯科に名称変更 院長に就任



福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F
(市営 大橋駐車場をご利用ください)

☎092(551)8080

ホームページ <http://kodomonoshika.com/>